

授業科目	*看護学概論				単位	2		
履修	必修	関連資格	高一種免(看護) 養教一種免		ナンバリング	NU11201J		
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP3-1 DP3-2 DP4-1			
担当教員	金山 正子							
授業概要	【実務家教員担当科目】 看護・看護学の発展過程を踏まえ、看護の定義・本質、看護の職業の位置づけ、看護の対象及び健康への理解を深め、看護教育の多様なレベル、看護の役割・専門性について概説する。さらに看護の理論、研究、実践の関係を理解し、看護学・看護学の現状と方向性を考える。看護の実務経験を活かした最新の看護の現状や動向を取り入れ、講義で概説する。							
学生が達成すべき行動目標	1.看護の定義を述べることができる。 2.「人間」を統合体として捉える意味を述べることができる。 3.「人間」「環境」「健康」「看護」の概念を述べることができる。 4.看護実践の基盤となる法律を述べることができる。 5.看護教育制度の概略を述べることができる。 6.保健・医療・福祉システムにおける看護職の役割を述べることができる。 7.看護実践における倫理の重要性を述べることができる。 8.災害看護の必要性を述べることができる。 9.今後の看護の方向性と課題を述べることができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	60	0	40	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	30						30	
知識・理解 (DP1-2)	30		25				55	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			5				5	
関心・意欲 (DP3-2)			5				5	
態度(DP4-1)			5				5	
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
看護・看護学の基本的知識を理解し、説明することができる(行動目標 1)~9)。個人学習とグループワークによる学習を行い、積極的に発表、意見交換等を行うことができる。課題レポートを作成し、今後の課題について考え、述べるすることができる。				1.看護の定義を述べることができる。 2.「人間」を統合体として捉える意味を述べることができる。 3.「人間」「環境」「健康」「看護」の概念を述べることができる。 4.看護実践の基盤となる法律を述べることができる。 5.看護教育制度の概要を述べることができる。 6.保健・医療・福祉システムにおける看護職の役割を述べるることができる。				

			7.看護実践における倫理の重要性を述べることができる。 8.災害看護の必要性を述べることができる。 9.今後の看護の方向性と課題を述べるができる。	
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	はじめに 授業概要の説明 テーマ:看護の本質 看護とは、看護学とは何か 看護の歴史的変遷から看護の定義や概念を概説し、看護とは何かを考える。	講義	予習:教科書の「看護の本質」を読む 復習:「看護の定義」について、該当部分の教科書を読んで理解する	90
2	テーマ:看護の役割と機能 看護の役割と機能、看護実践とその質保証に必要な要件、看護の役割拡大・機能の拡大、看護の継続性と連携について概説する。	講義	予習:教科書「看護の役割と機能」について読む 復習:講義の内容について、教科書を読み、理解する ※課題レポート作成①看護の概念(人間・環境・健康・看護)について、次回講義までに、レポートを作成する。	90
3	テーマ:看護の概念(人間、環境、健康、看護)について 人間の「こころ」と「からだ」を理解し、生涯発達し続ける存在としての人間、生活者としての人間について考える。また、環境と健康、健康と生活について考える。ここでは、人間、環境、健康、看護の概念の、相互関係についても考える。	講義、グループワーク、発表	予習:課題レポート①をもとにグループで意見交換ができるように準備する 復習:教科書「看護の対象理解」「国民の健康状態と生活」を読んで理解する ※課題レポート②ナイチンゲール「看護覚え書き」および:ヘンダーソンの「看護の基本となるもの」を読み、次回講義までにレポートを作成する。	90
4	テーマ:看護の概念について -ナイチンゲールの看護の定義とヘンダーソンの看護の定義- ナイチンゲールの「看護覚え書き」を読み、また、ヘンダーソンの「看護の基本となるもの」を読み、看護に対する考え方について、各自の課題レポートをもとに、意見交換をする。	講義、グループワーク、発表	予習:課題レポート②をもとにグループで意見交換ができるように準備する 復習:ナイチンゲールとヘンダーソンの考え方を比較し、自己の考える看護との違いを考える。 ※指定日までにグループ学習成果発表の資料を作成し、提出する。	90
5	テーマ:看護の概念と看護理論 -グループ学習成果発表と意見交換 人間・環境・健康・看護の4つの概念とナイチンゲール、ヘンダーソンの看護の考え方について、グループで学習成果をまとめ、クラス全体で発表し、意見交換を行う。	講義、グループワーク、発表	予習:グループで学習成果発表の準備をする。また、他のグループの学習発表資料を読み、質問や意見交換の準備をする。 復習:グループ学習の振り返りをする。 ※課題レポート③自己の看護観について、次回講義までに作成する。	90

6	テーマ:看護における倫理 職業倫理としての看護倫理の重要性、患者の基本的 人権と権利擁護について概説し、インフォームドコンセ ントおよび患者の意思決定支援、個人情報保護の保 護および守秘義務、現代医療における倫理的問題など について概説する。	講義	予習:教科書「医療をめぐる倫 理の歴史の変遷と看護倫理」 を読む 復習:教科書「患者の権利とイ ンフォームドコンセント」を読 み、理解する。 ※課題レポート④講義中に指 定した事例について考え、次 回講義までにレポートを作成 する	90
7	テーマ:看護における倫理的課題と対応 看護倫理の原則と看護者の倫理綱領について理解 し、倫理的課題について考え、倫理的課題への対応 について考える。	講義、グループワ ーク、発表	予習:教科書「看護者の倫理 綱領を」読み、理解する。 復習:講義内容の「倫理的課 題と対応の方法」について理 解する。	90
8	テーマ:看護サービス提供の場と継続看護 保健福祉医療システム、看護サービスの担い手、看 護サービス提供の場、チームアプローチと継続看護、 多職種連携について概説する。	講義	予習:教科書「看護サービス提 供の場」「看護の継続性と連 携」を読む 復習:教科書「看護サービス提 供の場」「看護の継続性と連 携」を読み、理解する。	90
9	テーマ:看護サービスの管理 看護サービスの管理、医療安全への取り組みなど について概説する。	講義	予習と復習:教科書「看護サー ビスの管理」を読む	90
10	テーマ:看護をめぐる制度と政策 看護サービスと看護職者に関わる法制度について、 特に、保健師助産師看護師法、医療法、労働にかか わる法などについて概説する。 また、看護の人員配置基準と診療報酬制度について 概説する。	講義	予習:教科書「看護をめぐる制 度と政策」を読む 復習:講義内容の「診療報酬 制度」と「看護人員配置基準」 について理解する。	90
11	テーマ:看護教育制度 看護職の資格と養成制度、継続教育と専門看護師・ 認定看護師・認定看護管理者、看護職のキャリア開 発などについて概説する。	講義	予習:教科書の「看護職の資 格と養成にかかわる制度」を 読む 復習:教科書で看護職の資格 および看護教育制度の概略 について確認し、理解する 。	90
12	テーマ:災害時における看護 災害看護の概念、災害と健康について概説する。ま た、災害サイクルにそった看護活動について概説し、 看護職の役割について考える。	講義	予習:教科書「災害時における 看護」について読む。 復習:教科書「災害サイクルに そった看護活動」について読 み、理解する。	90
13	テーマ:国際化と看護 国際看護学とは何か、健康と保健医療の世界的課 題、国際協力などについて概説し、看護活動の場と役 割の拡大について考える。	講義	復習:講義内容を理解する レポート課題⑤「今後の看護 の方向性と課題」についてレ ポートを作成する(次回講義時 に意見交換)	90
14	テーマ:今後の看護の方向性と課題について、発表、 意見交換	講義、グループワ ーク、発表	予習:レポートの課題につい て、発表できるように準備す る。 復習:講義内容の整理をする。	30
15	授業のまとめ	講義	予習および復習:授業資料の まとめとファイリング	

16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	看護学科に入学して初めて学ぶ看護専門科目です。教科書や資料に出てくる単語や専門用語などは、専門の辞書や図書などで調べて下さい。また、レポートは指定日までに作成して提出して下さい。			
テキスト	1.茂野香おる、他著:系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学[1]看護学概論、医学書院、2020年 2..F.ナイチンゲール著、小玉香津子・尾田葉子訳:看護覚え書、本当の看護とそうでない看護、日本看護協会出版会、2019年、新装版 3.V.ヘンダーソン著、湯楨ます・小玉香津子訳:看護の基本となるもの、日本看護協会出版会、2020年、再新装版			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書 その他、参考図書はその都度紹介し、教材については、必要に応じて資料を配布します。 看護関連情報は、インターネットで信頼できるサイトを選び、参照して下さい。(例-厚生労働省や日本看護協会のホームページなど)			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	看護学だけでなく、看護学以外の学問の図書や文献を読んだり、社会の中のさまざまな情報からも、必要な知識を得て学習して下さい。			
達成度評価に関するコメント	試験(60%)、レポート(40%)で評価します。レポート提出方法や講義中の意見交換などの内容については、授業の中で示します。			

